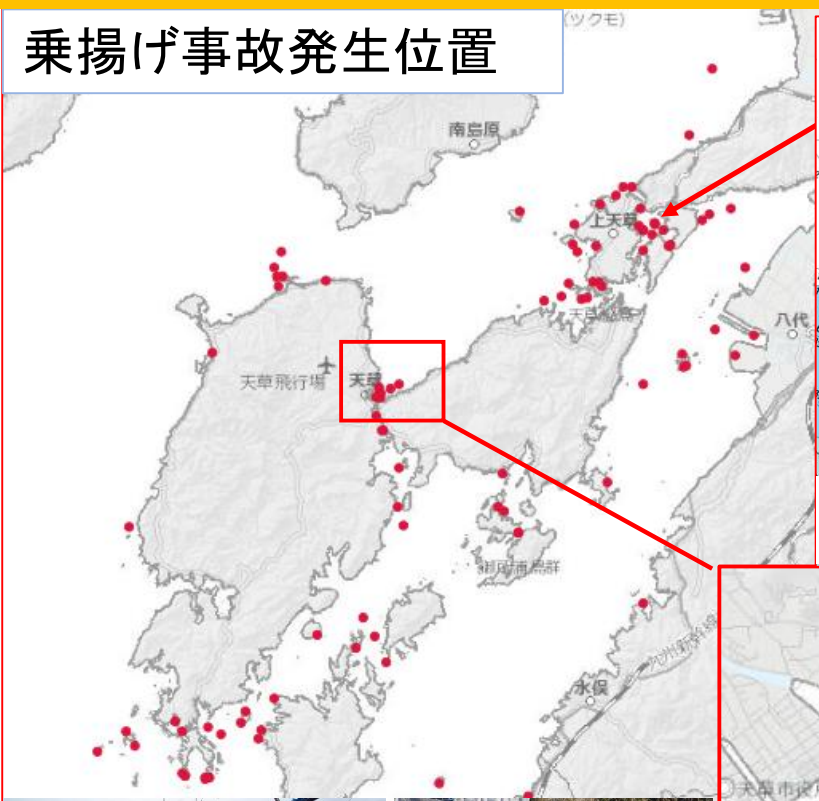
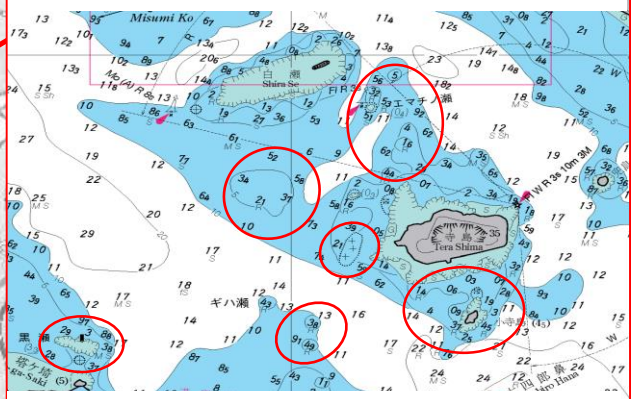
航行ルートは事前確認したか！？
天草・三角周辺は、乗揚げ注意海域！！

乗揚げ事故発生位置



【海図の例】海図では、この様な情報が得られます。
航海には、最新の海図を利用しましょう。



熊本県の海域は浅瀬・暗岩が多数存在！
小型船舶でのショートカットは注意！！





乗揚げ船の状況（右は乗揚げにより破口が生じ沈没）



本渡瀬戸航路北側
3トン以上の小型船舶の乗揚げ事故多発地帯
水深、潮汐、自船の喫水要確認！

【事故事例】
平成３０年７月某日、上天草沖で航行中の小型船舶（大人５名、子供８名が乗船）が浅瀬（暗岩）に乗揚げました。自力離礁できず、１１８番により救助要請し、10時間後に救助船により離礁、幸いにして怪我人などはありませんでした。事故船舶は、帰港中で往路と同じルートを航行していましたが、水深や潮汐の確認を怠った結果、乗揚げ事故が発生したものです。

『他船が通航しているから』『目視で確認しているから』『いつも通っているから』 多分大丈夫で、乗揚げ事故が発生しています！

① 自船の喫水　② 航行海域の浅瀬（海図などで）　③ 潮汐

の３点を事前に確認し、航行ルートを設定しましょう。

お問い合わせ JCG 熊本海上保安部
〒869-3207 熊本県宇城市三角町三角浦１１６０－２０
0964-52-3105
海の安全情報 検索

乗揚事故を防止するために

事前の水路調査

海図等により**航行する海域の水深を事前に確認**したうえで安全な航海計画を立てましょう。

自船の位置を把握

干潮時と満潮時では、風景が大きく変わり、自船の位置を見誤るケースが多くあります。また、夜間には灯火の誤認による事故も発生しています。

GPSなどで自船の位置を正確に把握するとともに、**事前に海図等で灯火や顕著な目標物を確認**をしましょう。

潮位差に注意

熊本の海は、干満により**最大４メートル以上の潮位変化**があります。

『これまで通れたから大丈夫』で多数の乗揚げ事故が発生しています。

海図で水深を確認し、潮汐表で航行予定時刻の潮位を把握したうえで干満に関係なく**暗岩・干出岩など浅瀬は避けて航行**しましょう。

自船の喫水把握

船内機船は、船外機船と比較して**喫水が深い**ため特に**注意**が必要！

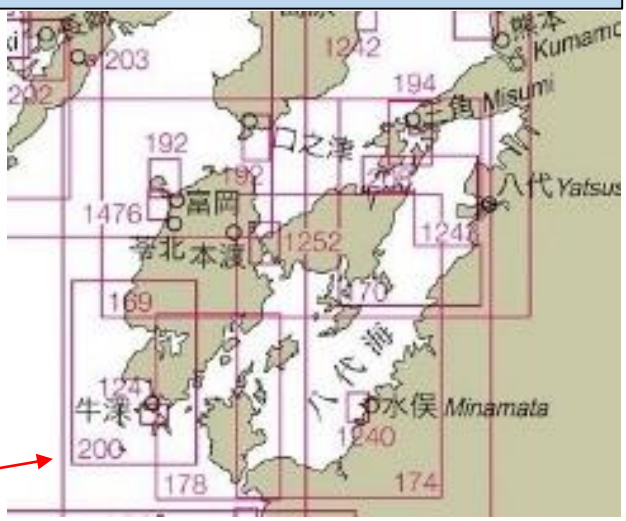
船内機船は、乗揚げの危険性が高いことを認識し、**自船の喫水をしっかりと把握**しましょう。

海図はどこで買えるの？

海図は、以下の販売店または一般財団法人日本水路協会のホームページにある『海図ネットショップ』で購入が可能です。

海図には、W169、W200など番号が振られており、右の図の赤の四角で囲まれた範囲毎に海図があります。

必要な海域の海図番号を確認しましょう。



海図番号　W200

熊本県海図販売店

〇(有)丸冨石油船具商会　水俣市丸島町2の4の1　(0966)63－2733
〇(株)シマゴヤ　八代市新浜町2の7　(0965)35－2181
〇三角商事(有)八代営業所　八代市港町34の2　(0965)37－0884
〇(有)中村船具　天草市牛深町3431の1　(0969)72－3511
〇(有)有馬商事　宇城市三角町東港1区　(0964)52－2293
〇三角商事(有)　宇城市三角町大字三角浦1159の5　(0964)52－2630